

令和5年度長崎県保健医療対策協議会がん対策部会  
子宮がん委員会 議事概要

日 時：令和6年1月17日（水）18：30～20：20

場 所：長崎県庁 3階 311会議室

出席者：三浦委員長、森崎委員、小寺委員、松田委員、寺坂委員、藤下委員

(1) 県内 HPV ワクチンの接種率について

資料9により事務局から説明。

キャッチアップ接種が来年度で終了するため、早急に接種勧奨を行うよう意見があった。

(2) がん検診における HPV 検査単独法の導入について

資料7について事務局から説明。

がん検診指針の改正により、子宮がん検診に HPV 検査単独法が追加になったことを報告。HPV 検査単独法と細胞診の併用法の導入や自己検診等の実施についても検討していくよう意見があった。

(3) がん検診に係る各目標指標について

資料1により事務局から説明。

意見等なし。

(4) 事業評価のためのチェックリストの活用について

資料2により事務局から説明。

意見等なし。

(5) 長崎県内の胃がん検診の実績と精度管理について

資料3により事務局から説明。

精密検査未把握率を減らすための検証や減らすためのシステム等について検討するよう意見があった。

(6) 精密検査実施機関登録制度について

資料4により事務局から説明。

精度の登録要件、制度実施要領、導入スケジュール案を提示。制度開始にあたっては、医療機関へ十分な説明を行うよう意見があった。

(7) 検診機関における要精検率について

資料5により事務局から説明。

令和 3 年度より県が行っている検診機関の精度管理指標値の集計のうち、医療機関毎の要精検率を分布図にして共有。許容値を超える医療機関に対しては、改善におけた働きかけを検討していくことを報告した。また、要精検率が高い医療機関やその検査について情報交換をした。

(8) 長崎県がん対策推進計画（第4期）について

資料6により事務局から説明。

意見等はなし。

(9) 子宮頸がん啓発企画「LOVE49 プロジェクト」について

資料8により委員から説明。

街頭での啓発活動について、紹介があった。学生等とタイアップした啓発の推進につて助言があった。